



2025 年 7 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 上四元 絢
(コード：6574 東証グロース)
問合せ先 執行役員 藤本 光
(TEL：03 (3770) 1190 (代表))

新たな事業（暗号資産保有事業）の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の財務基盤の強化及び円建て中核事業の成長に伴う購買力維持策、中期的なインフレ影響への緩衝措置を目的とした取り組みの一環として、資産の一部をビットコイン（BTC）で保全するビットコイン保有戦略を定め、当社の新たな事業として、暗号資産保有事業を開始することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 暗号資産保有事業参入の背景

近年の物価上昇・為替変動を踏まえ、企業経営におけるインフレ耐性及び通貨分散の重要性が一層高まっております。当社は、資産の一部をビットコイン（BTC）で保全するビットコイン保有戦略を決議しましたが、その前提として、2025年6月27日の株主総会で定款目的に「Web3・デジタルアセット事業」を追加し、2025年6月30日付「第三者割当による第4回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の引受契約の締結に関するお知らせ」でデジタルアセットへの投資を開示しております。本戦略は、円建て中核事業の成長に伴う購買力維持策、中期的なインフレ影響への緩衝措置として位置付けるものであり、将来的に財務諸表上でBTC等の比率が相対的に高く見える可能性があります。これは「円で稼ぎ、円の購買力を守る」財務防衛機能である点をご理解賜りたく存じます。また、一部の上場企業ではビットコインを財務戦略資産として保有する動きが広がっており、長期的な資産保全の手段としての活用が進んでおります。

当社においても、事業成長に伴う資産運用の一環として、円建て資産のみならず、インフレヘッジ及び価値保存資産としてのビットコインを組み入れることで、財務健全性の向上を図ることを目的としております。

2. 事業の概要

(1) 新たな事業の内容と開始時期

当社は、本日付で、財務戦略の一環として暗号資産保有事業に参入し、円建て資産に加

え、インフレヘッジ及び長期的な価値保存資産としてのビットコインを組み入れ、財務健全性の向上を図ります。取得にあたっては、後記(2)に詳述するとおり、リスク管理を徹底し、安定的な運用を実施します。

(2)暗号資産保有事業を担当する部門

暗号資産保有事業の遂行は、本日付で新設したビットコイン保有戦略室が担当し、適切なリスク管理のもとで進めてまいります。また、暗号資産に関する専門知識を有する当社取締役の東大陽氏を同室の責任者として定め、同氏を中心に、事業の円滑な推進を図ります。

詳細については、本日付「ビットコイン保有戦略室の新設と役員の管掌範囲の変更に関するお知らせ」をご高覧ください。

(3)暗号資産保有事業のために特別に支出する予定額の合計額

当社は、新たな事業として、暗号資産保有事業を開始するにあたり、前記(1)に記載のとおり、併せて、本日付で、新たに総額4億円のビットコインを購入することを決議いたしました。

詳細については、本日付「暗号資産（ビットコイン）の購入決議に関するお知らせ」をご高覧ください。

なお、ビットコインの取引方法としては、主要な暗号資産交換所において口座を開設し、その口座を通じて取引を行ってまいります。そのため、特定の相手先との取引は、現時点では想定されておりません。

3. 今後の見通し

2025年6月19日開示の2026年3月期連結業績予想には、2025年7月17日以降における暗号資産保有事業の遂行（新たに購入する総額4億円のビットコインの購入と保有を含みます。）に係る損益は含まれておりません。保有する暗号資産につきましては、IFRS上の会計処理につきましては検討中です。今後、連結業績に著しい影響が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上